

令和4年度札幌市立札幌中学校総合的な学習の時間全体計画

学習指導要領 総合的な学習の時間「目標」(一部省略)

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

(1)課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の良さを理解する。
 (2)実生活の中から問いを見出し探究的な学習ができる。
 (3)主体的・協働的に取り組み、積極的に社会参画する態度を養う。

学校教育目標

『未来を開く逞しさを』

□学ぶよるこび 真理を愛し 文化を創造する能力(知)
 □豊かな心 人や自然を愛する 豊かな情操 (徳)
 □逞しい心身 健康で逞しい体力と強靱な意志力(体)

札幌中学校の「総合的な学習の時間の目標」

- 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育成すること
- 学び方やものの見方や考え方を身に付けること
- 課題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てること
- 自己の生き方を考えることができるようにすること

札幌市立札幌中学校において定める内容

探究課題	課題を解決することによって育成する具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう人間性
横断的・総合的な課題 ・未来を担う、北海道の開拓(1学年) ・人のため、社会のため何が出来るか(2学年) ・夢を具体化する(3学年) 地域や学校の特色に応じた課題 ・より効果的で人を感動させる表現方法とは(全学年) 職業や自己の将来に関する課題 ・施設訪問を通して、北海道の産業について考える(1年) ・農業体験等を通して北海道の農業と産業について考える(2年) ・進路探究学習を通して、進路選択に大切なことを考える(3年)	①情報の集め方、調べ方 ②ウェビングなどによる思考の広げ方 ③書籍やインターネットを使った情報の集め方や調べ方 ④記録のとり方・まとめ方・表現の仕方 ⑤報告・発表の仕方 ⑥情報の整理の仕方 ⑦他者との情報交換の仕方 ⑧記録の活用方法 ⑨経験を共有するまとめ方と交流	・課題をよりよく解決するための手段を工夫する。 ・比較し、関連付ける。 ・課題に応じた情報収集。 ・資料収集し、蓄積した情報をまとめる。 ・複雑な状況下で事実や関係を把握し、多角的に分析する。 ・問題状況を把握し、課題を設定する。 ・情報収集手段を選択する。 ・事実や関係性を理解する。 ・状況に応じて、わかりやすくまとめる。	・作業を協同して行い、学んだことを次の活動に生かすことができる。 ・観察や見学において、情報の収集を主体的に行おうとする。 ・異なる意見や他者の考えを尊重し、他者のよさを発見することができる。 ・自らの知識・技能を総動員して粘り強く課題を解決しようとする。 ・集団や社会の課題解決に主体的に参画し、その発展に貢献しようとする。 ・自分の生活や生き方と結びつけて物事を捉えようとする。

1学年の目標	2学年の目標	3学年の目標
課題を設定し、情報収集の方法を学び適切な方法で他者に伝えることができる	主体的に課題を設定し、体験を通して情報を収集して課題解決への様子を適切な方法で報告することができる	主体的に課題を設定し、適切な方法で情報収集・整理分析して、社会や未来への提案や提言をまとめることができる

1学年の題材	2学年の題材	3学年の題材
・未来を担う、北海道の開拓 ・より効果的に人を感動させる表現方法とは ・施設訪問を通して、北海道の産業について考える	・人のため、社会のため何が出来るか ・より効果的で人を感動させる表現方法とは ・農業体験等を通して北海道の農業と産業について考える	・夢を具体化する ・より効果的で人を感動させる表現方法とは ・進路探究学習を通して進路選択に大切なことを考える

指導方法	指導体制	学習の評価
・他者と協働的に取り組む学習とする ・教科との関連指導	・少人数指導による指導の連携 ・教師の特性や専門性を生かした協働的取り組み ・地域との連携	・学習過程ごとの評価規準の作成 ・具体的な資質・能力ごとの評価 ・学校評価ガイドラインによる評価

教科等を超えたすべての基盤となる資質能力

情報活用能力

人間関係形成能力

情報を活用する学習活動

協働的な課題探究活動

自己理解や他者理解を中心とした学習活動

探究の課程において
情報・情報技術を活用する学習活動

他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む能力